



2022 年第 6 回 TouchTheJapanFestival

一般社団法人国際観光文化推進機構 (ITCO) は、日台の絆を継続させ、観光を中心に様々な分野での来るべきウイズコロナ日台交流再開をご支援する為に、2022年10月21、22、23日の3日間、台北市華山1914文創園區展覽会場の屋内外をほぼ借り切り、日華議員懇談会・日本観光局 (JNTO)・公益社団法人日本観光振興協会・経団連・日本商工会議所 の後援により、日本の旅・文化・食・物産を紹介し展示販売を実現する台湾最大級の単独日本総合展覧会【第6回 TouchTheJapanFestival】を開催いたします。

第6回の最大の魅力は：

1. 単独大規模開催とキャッシュレス決済

ジャパンロス現象が発生している台湾の皆様には日本だけの展覧会を楽しんで頂ける旅と文化と食と物産の一大イベントとなります。台湾最大級のキャッシュレス決済サービス会社悠遊卡股份有限公司のEASY CARD及びEASY CARD ペイの協賛により会場販売はすべてキャッシュレス決済となります。

2. リアルとオンラインの二刀流

来場者への直接のアプローチと台湾ウェブメディアを使った販売プロモーションが同時に可能となります。

3. 台湾初の昼夜開催日本イベント

屋内のブースプロモーションそして野外の日本ふるさとグルメ屋台祭とステージ実演プロモーションによる台湾初の画期的な昼夜(10:00~21:00)開催イベントで20万人以上の来場者を目指します。

4. 台湾文化遺産を使ったユニークな会場構成

会場となる台湾文化遺産に指定されている華山1914文創園區は、日本統治時代のお酒の赤レンガ倉庫群が大切に保存され、台北市でもっともお洒落な情報発信基地として、様々なイベントや展覧会が開催されています。各赤レンガ倉庫をテーマ別にネーミングし来場者にとって魅力的な特色を出してまいります。

5. B2BとB2Cを同時に展開

50社を超える分野ごとの台湾現地実務支援会社ネットワークを構築し、出展者のビフォー・アフターも含めた様々なサービスを可能にいたしました。例えばブース運営の代行、商品の輸出通関・商品の販売・現地マーケティング・越境EC・バイヤーの招聘などの代行、イベント後のアンテナショップの開設・運営、ネット配信などあらゆる分野で業務委託が可能です。